

提供日 2025/01/20
タイトル スギ花粉予報 “平年の1.8倍”の見込み
担当 経済産業部 農林技術研究所森林・林業研究センター
連絡先 経済産業部 農林技術研究所森林・林業研究センター
TEL 053-583-3121



令和7年春のスギ花粉予報

県内のスギ花粉発生量は “平年の1.8倍” の見込み

【調査機関】

静岡県 農林技術研究所 森林・林業研究センター

【調査時期】

令和6年11月22日～29日(内、6日間)

【調査箇所】

県内30箇所のスギ林

【調査方法】

スギの雄花が成熟し黄色みを帯びて色が変わり、葉との区分が容易となる11～12月に、県内のスギ林の雄花着花状況を目視により調査観察し翌年春の花粉発生量を予測。

【調査結果】

- ・ 形成された雄花の量(全県の平均)は、平年(平成26年度から令和5年度までの直近10年間の平均)に対して1.8倍であった。
- ・ 花粉の本格的な飛散開始時期は、1～2月の気温に影響されるが2月中旬頃から。

【花粉発生のメカニズム】

- ・ スギは、雄花と雌花を別々に着ける。花粉の発生源となるのは雄花である。
- ・ 雄花は7月ごろから形成され始め、成熟後、翌2～3月に花粉を飛散する。
- ・ 1つの雄花につき、約40万個の花粉が含まれる。

※ 詳細については別添資料参照



写真-1 スギ林調査の様子



写真-2 成熟した雄花